

研究情報公開

| | |
|--------------|--|
| 受付番号 | 25-18 |
| 研究課題名 | 回復期リハビリテーション病棟に入院した脳卒中患者における Functional Assessment for Control of Trunk (FACT) の Rasch 分析を用いた Key form の開発 |
| 研究機関 | 医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院 |
| 研究実施者 | リハビリテーション療法部 理学療法士 大城拓真 |
| 研究の背景・目的・方法等 | <p>[研究の目的]</p> <p>回復期リハビリテーション病棟に入院する脳卒中後の軽症例から重症例までの患者を対象に、Rasch 分析を用いて FACT の構造妥当性・信頼性、DIF や LID を検証し、その結果から目標設定や治療計画に活用できる Key form を作成することを目的とする。</p> <p>[研究の方法]</p> <p>●対象となる方</p> <p>当院に入院した脳卒中後の患者様</p> <p>●利用するカルテ情報</p> <p>年齢、性別、脳卒中の病型（脳出血・脳梗塞）、麻痺側、発症から入院までの日数、入院時 National Institutes of Health Stroke Scale (NIHSS)、入院時 Brunnstrom Recovery Stage (BRS)、Functional Assessment for Control of Trunk (FACT) の各評価項目得点（入院時、および退院時）</p> <p>●カルテ情報の利用方法</p> <p>上記のカルテ情報は、本研究の分析する材料として利用させていただきます。</p> <p>[個人情報の取り扱い]</p> <p>調査により得られた被検者の情報を扱う際は、情報提供元のちゅうざん病院で個人情報と関係ない符号または番号を付して匿名化、論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いない。また、個人情報の保管については鍵のついた物に保管するなどして他者に漏洩されない状態で保管する。保管責任者は、ちゅうざん病院倫理申請書に記載する本研究の責任者とする。</p> |
| 研究期間 | 承認日～ |

